

2023年大阪府知事選挙にのぞむ政策協定 ～いのち優先、誰もが安心して暮らせる大阪のために～

【協定項目】

1. 府予算は命や健康、暮らし最優先に転換し、カジノ誘致は撤回します

- ①カジノを中心とする統合型リゾート(IR)の誘致を撤回します。
- ②不要不急の大型開発および広域行政一元化条例を見直します。
- ③府域の経済政策を中小企業振興型に転換します。
- ④上記の府政運営を堅持し、医療・保健・福祉施策の拡充を進めます。

2. 医療費助成制度を再構築し、患者の窓口負担軽減を進めます

- ①乳幼児医療費助成の所得制限撤廃、無料化、対象年齢の拡大を進め、国に制度化を求めます。
- ②ひとり親家庭医療費助成制度の所得制限を撤廃し無料化します。
- ③重度障がい者医療費助成制度を中軽度や難病患者にも拡大し無料化します。
- ④老人医療費助成制度を再び制度化し、75歳以上2割化の中止を国に求めます。
- ⑤妊産婦医療費助成を府が先駆けて創設し、国に制度化を求めます。

3. 医療・介護にかかる府民の負担を軽減します

- ①国保料引き下げのため市町村減免を維持し府内の統一保険料を中止します。
- ②短期被保険者証・資格証明書を交付しないよう市町村を指導します。
- ③介護保険料と利用料軽減のため財政支援を強化します。
- ④国保・介護に対する国庫補助率の引き上げを国に求めます。
- ⑤生活困窮者の生活が保障されるよう生活保護行政を見直します。

4. 開業保険医が安心して医療が提供できる体制を整備します

- ①地域の基幹病院への財政支援を強め二次・三次の歯科提供体制を整備します。
- ②障がい者(児)に対応できる歯科医療機関を増やし高次機能との連携を強めます。
- ③地域医療構想の病床計画を見直し、急性期病床を維持・拡充します。
- ④新興感染症や物価高騰などによる医院経営の悪化に対する支援を強めます。

5. 口腔保健事業を拡充し、保健所体制を強化します

- ①歯科口腔保健推進条例を制定し庁内の歯科保健推進体制を強化します。
- ②全ての保健所に常勤の歯科医師・歯科衛生士を配置します。
- ③全ての世代が切れ目なく歯科健診が受けられる制度を創設します。
- ④学校歯科健診後の受診状況と「口腔崩壊」の児童・生徒を把握し改善を図ります。

6. 国に政策の転換を求めます

- ①保険証廃止の中止とオンライン資格確認の導入義務化の撤回を国に求めます。
- ②専守防衛に反する敵基地攻撃能力の保有と軍事費倍増をやめるよう国に求めます。
- ③原発の新設および再稼働に反対し、再生可能エネルギーの普及を推進します。

2023年2月11日

大阪府歯科保険医協会 理事長

大阪府知事予定候補

小澤 力

辰巳 孝太郎